

手取川・梯川等大規模氾濫に関する減災対策協議会では、確実な避難に向けた取り組みの一環として、住民一人ひとりのタイムラインである『マイ・タイムライン』をつくる講習を実施し、児童を含めて約90名の参加があった。

日 時: 平成29年8月1日(火) 14:40~15:40

場 所:能美市防災センター

参加者:白山市・小松市・能美市・野々市市・川北町の児童約70名

保護者・関係者含め、全体約90名





# 『マイ・タイムライン』とは

住民一人ひとりのタイムラインであり、大雨等よって河川の水位が上昇する時に、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、とりまとめるものである。

時間的な制約が厳しい洪水発生時に、行動のチェックリストとして、また判断のサポートツールとして活用されることで、「逃げ遅れゼロ」に向けた効果が期待される。



マイ・タイムラインの例

## マイ・タイムライン策定の流れ

自分の住んでいる場所が浸水区域内に入るか知ろう



想定最大規模の浸水想定区域図へ 自分の住んでいる場所にシールを 貼ってもらい、浸水想定箇所かどうか を知ってもらう



### 自分の住んでいる場所の 浸水深を知ろう



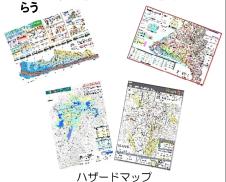
一般的な2階建ての家と浸水深を重ね合わせた図を見せ、自分の家がどの位浸水するか知ってもらう



### 避難所の場所や避難する ルートを考えよう



ハザードマップで避難所の場所を知り、危険な場所を避けたルートを考えても



#### 洪水時の自分のする事を 考えよう



大雨が降った時を想定し、『いつ準備 するか』、『いつ避難するか』を考え、マ イ・タイムラインを作る

